



マーク：福田 常雄 氏

ふじみ

第160号

令和元年10月1日

社会福祉法人みちのく協会
 理事長 工藤 和子
 特別養護老人ホーム富士見荘
 ケアハウスアーベイン八幡平
 松尾デイサービスセンター
 介護相談所陽だまり
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)
 地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
 電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
 E-mail fujimiso@rnac.ne.jp
 URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

「志をつなぐ」

社会福祉法人みちのく協会

理事長 工藤 和子

通勤途中の田んぼの稲穂が頭を垂れ、
 黄金色に輝いて秋の訪れを感じさせる季
 節となりました。春は寒く、夏は猛暑で
 したが、季節は、寒い暑いと物言わず移
 り変わるものです。

日頃、みちのく協会にご支援、ご協力
 を賜りまして感謝いたしております。
 社会福祉法人みちのく協会の設立から、
 令和元年の今年、四十五年目を迎えてお
 ります。改めて四十五年の歴史の歩みを
 振り返ると先代の理事長・役員のご尽
 力によって今、私たちは「愛と献身」と
 という法人理念のもとに、この地で福祉事
 業を受け継いでいることに感謝するとと
 もに初心を思い起こしております。

さて、過日行われた富士見荘の夏祭り
 は、天候にも恵まれ「松尾鉦山音頭」「佐々
 木重吉とゆかいな仲間たちの皆さん」「松
 尾地区の盆踊り」「刈屋さんさ踊り」等
 盛り沢山なプログラムで、ご入居者様・
 ご家族様・地域の皆様と一緒に大いに盛
 り上がりしました。当日参加して頂きまし
 たボランティアの方々には、この場を借
 りてお礼を申し上げます。

合わせて裏話をひとつ。実は、毎年、

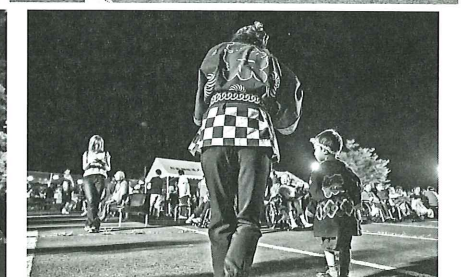
夏祭りの一週間ぐらい前に旧松尾村役場
 を退職された有志の方々が、ご奉仕で富
 士見荘の庭園整備を行っております。こ
 の作業の意味は、設立当時、まだ公設と
 しての老人ホームがない中、有志が私財
 をもって松尾村に老人ホームを設立し
 た、その志を役場職員も共有していて「村
 の施設」という思いから毎年集まってや
 られているとのことでした。また、この
 作業に集まることで安否確認と入所申込
 も兼ねていると笑いながらお話しされて
 いました。法人を束ねる者として、心か
 ら、先達の皆さんの志をつないで「地域
 の施設」になるよう努めていきたいと
 思っております。



庭園整備



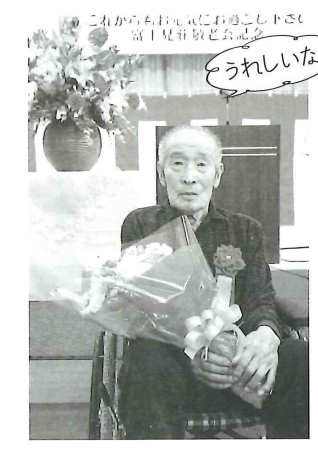
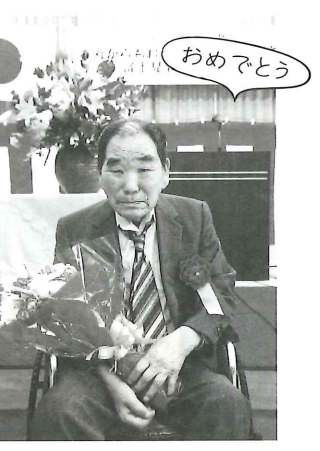
夏祭り



敬老会

9月16日、敬老の日。夏祭りと並ぶ一大イベントの富士見荘敬老会が開催されました。ご入居の皆様は、素敵にドレスアップをして式典に参加され、白寿・卒寿・米寿・喜寿のお祝いをいたしました。式典後は、生演奏と歌を聴きながら和食のフルコースを楽しみました。

特別養護老人ホーム
富士見荘
☎(0195)
78-2455



工藤音楽教室のみなさんと



平館高等学校の生徒さんが作ってくれた紫根染枕(八幡平市より)

デイサービスセンターだま

(0195) 78-3720

令和初の夏を迎え「冷夏」と称されるような気温が低い日が続いたかと思えば、七月中旬過ぎからお盆過ぎまでは猛暑となりましたが、デイサービスではエアコンにより快適に過ごすことができました。

一方、国内各地では史上初となる様な猛暑や集中豪雨を記録した地域もありました。異常気象の原因の一つには、地球温暖化があるようですが、これから果たして人類の叡知と努力により、どこまで防ぐことができるかは予想ができません。

災害に備えてと事業所内でも当日利用者全員参加の避難訓練を行っておりますが、訓練であることを事前に説明しても、いざとなると先に避難しようとする急いでつまずいたり、よろめいたり危険な場面が見受けられ、そのような場面で大きな事故につながるような反省会を行い、今後の対応を話し合いました。

また、猛暑時の熱中症予防に水分補給を勧め、元気に利用していただくよう声掛けを行っております。

これからやってくる冬に備え、今まで同様に利用者の皆様の安心と安全、快適に過ごして頂けるように十二分に配慮してサービスの提供を行って参ります。

買い物ツアー

六月と八月には毎年恒例の買い物ツアーがありました。楽しみにされている方も多く、こんなに遠くに来ることがあまりない、と往復の景色も楽しみながら、ドライブ感覚で景色を楽しまれました。浜民イオンに着いてからは広い店内を歩き、品数が豊富で欲しいものが買える、お目当ての物を探しながら今日の夜ご飯はこれで決まった！と嬉しそうに話され、皆さんいきとした表情で買い物をしていました。また買い物はせず、ウインドウショッピングで季節を感じている方もいらっしゃいました。

外出行事を行う事で、デイサービス内では味わえない刺激を受ける事ができます。

また次の買い物では何を
買おうかなと
考えるのも楽し
みですね。



おやつ作り

毎年この時期の恒例のおやつ作りがありました。

毎日同じメニューではつまらないからお好み焼き、クレープ、白玉ぜんざい、コーヒーぜんざいと職員が知恵を絞り（実は職員が食べたい物？（笑））利用者の皆さんに手伝っていただきましたが、初日には、ホットプレートが熱くならないアクシデントが発生!!。お隣のケアハウスに走り急遽貸してもらいました。それからは、皆さん元主婦の方々でしたから、手際も良く皆さんで食べられる数と丁度良いサイズのお好み焼きを焼ききと作っていただきました。別な日では、お話しが弾みながら白玉を丸める手つきもさすがで、口と手を動かすってこういう事ですねと盛り上がりました。コーヒーぜんざいは利用者様方にはなじみの味ではなかったようですが、「こつやって食べると美味しいね!」と好評でした。



地域密着型介護老人福祉施設

はらからの里

☎(0195) 68-7880

お楽しみ夕食会

六月二十九日にははらからの里でお楽しみ夕食会が開催されました！もりあか民謡隊、スコップ三味線友の会の皆さんに歌や踊り、演奏を披露していただき会場からは拍手が沸き起こりました。

その後夕食会となりましたが、あいにくの雨。テントの中とユニットで、利用者様、ご家族様に食事を楽しんでいただきました。

昨年からはじめたお楽しみ夕食会ですが、皆様から好評をいただき、毎年恒例行事となりました。来年も楽しんでいただけるよう職員も頑張ります！



流しそうめん

はらからの里では、季節を味わう食事会を随時開催しています。

七月三十一日は流しそうめんを食べました。外は晴天でしたが、猛暑で倒れそうなくらい日差しが強い日でした。流れてくるそうめんを上手に箸で取ってかぶりつき、「おいしいね」と笑顔を見せてくれました。

暑い夏の日にさっぱりしたそうめんを食べ、冷たいノンアルコールビールを流し込む。はらからの里で夏を味わいました。秋にはどんな行事食が出るか楽しみです。



車椅子をいただきました！

八月五日に第一生命保険株式会社様から車椅子をいただきました！老人ホームではこれらの福祉用具は欠かせないものです。いただいた車椅子を大事に使い、入居者様の安全な生活を保障できるよう、職員も頑張つて参ります。第一生命保険株式会社の皆様、本当にありがとうございます！



避難訓練

六月二十六日、八月二十八日に火災を想定した避難訓練を行いました。火災報知器が鳴る中皆さんの冷静な行動により短時間で避難することが出来ました。消火器訓練も行い火事について職員も勉強をさせていただきました。



リゾート型ケアハウス
アーベイン八幡平
 ☎(0195) 78-2710

「何気ない日常を…」

ケアハウスアーベイン八幡平
 施設長 箱石裕

例年にないくらい暑い日が続いた夏も季節の移り変わりとともに遠ざかり「やれ、脱水症だ」「熱中症に気を付けよう！」と声をかけあつた日々が嘘のように落ち着いた日々が戻ってきました。

アーベイン八幡平では日常的に「より住みやすい環境の実現」に向けて様々な活動に取り組んできています。とお話ししてきましたが、その具体例の一端を紹介しましょう。

その取り組みの基本となる考え方として、入居している皆さまが部屋にとじこもらない、部屋から出て何らかの活動にいそしんでいる、例えば、部屋にいても読書や趣味活動に取り組んでいる、という姿をイメージし、入居している皆さまの日常が何気ないものであっても、いきいきとしている。そんな「日常」を用意することが前提となっています。

まずは、朝食後の「朝の体操」、これはごく一般的な取り組みですが、継続することが大切で、皆さま体調に合わせて楽しんでおられるよ

うです。このような取り組みはおおよそ週単位で組まれています。午前中の取り組みは、講師をお願いしての「健康体操」(月一回)と「合唱セミナー」(月二回)のほか自主活動として「折り紙」「コーラス」(週一回)があります。午後の取り組みには、講師とボランティアの応援を得ての「布アート」(月二回)のほか、ボランティアの応援をお願いしての「レクリエーション倶楽部」(週一回)や「カラオケの日」(月一回)などが用意されています。この取り組みは、食堂フロアで行っています。これらの取り組みに参加せず、食堂フロアで新聞を読んだり、テレビを視聴したりする人もおりますが、それも当たり前のこととして、お互いに気にはしていないようです。

蛇足ですが、活動の中心となる食堂フロアにはコーヒーメーカーが常備してあり、いつでもコーヒーが楽しめるようになっていきます。これらの取り組みは施設内のことですが、もう一つの「日常」として欠かせないのが「外出」です。通院や私的理由の外出は別にして、共通して用意しているのが「盛岡買い物の日」(毎週一回)でおおよそ半日盛岡市内を散策いただくというのが主旨です。次いで地元スーパーなどでの買い物目的とした「買い物ツアー」(月二回)のほか季節を楽しむ

「花見ドライブ」「いちご狩りドライブ」「さくらんぼ狩りドライブ」「紅葉狩りドライブ」などを企画しています。そのほか、月初めには、入居者の皆さまの交流を目指しての「お茶会」(月一回)や多少ほろ酔いもという企画の「居酒屋」(月一回)があります。そして、年中行事としての「豆まき」「夏祭り」「クリスマス」「お正月」などを楽しむ企画もその都度たてられています。

このような様々な取り組みを用意することで、入居の皆さまが参加し、また参加しないまでも、少しでも充実した時間が続くようにと願っています。



挽きたてを味わえるコーヒーメーカー

「消費税について」

令和元年十月より、消費税が八%から十%になりました。

アーベイン八幡平では食事を提供しておりますが、食材を購入する際

にも八%ではなく、十%になるものがあるようです。

例えば、調味料というと、「みりん」は十%で、「みりん風調味料」は八%であるということです。これは、アルコール一%未満のものは八%で、それ以上のものは十%であるためです。なので、ビールは十%でも、ノンアルコールビールは八%ということになります。

また、医薬品や医薬部外品は軽減の対象とならないので、「ファイト・一発!」でお馴染みの栄養ドリンクは医薬部外品なので十%となり、「あなたたたたタ〇〇ン」でお馴染みの「フマ〇」(そのままですね。)は清涼飲料のため、八%であるということ。その他、エナジードリンク系は、八%のようです。

外食をする際も、食べる場所等により、八%となったり十%となったり様々なようです。例えば、コンビニで買い物を行い、コンビニ内に置いてあるコンビニが設置したベンチで飲食する際は十%となり、駐車場においてある自分の車で飲食する際は八%となるなど分かりづらい仕組みであり、会計が済んでから消費税が違うといわれても、納得いかないし、コンビニ側もお客さんを失ってしまうのであと二%消費税をくれとは言わないでしょう。(遠藤)

愛

筆流

題字 関口作治氏

社会福祉法人 みらのく協会 基本理念

社会福祉法人みらのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切に、心をこめた介護をいたします。

富士見荘の動き

7	24	布アート (りんどう)
8	8	富士見荘夏祭り
	20	盆供養
	21	布アート (ほおずき)
9	16	富士見荘敬老会
	25	秋彼岸供養

富士見荘利用者状況

(令和元年9月10日現在)

市 町 村	男	女	計
八幡平市	13	57	70
岩手町	0	2	2
その他市町村	0	2	2
合 計	13	61	74

富士見荘入退居者状況

入居者	7月	3	(1)	退居者	3	(1)
	8月	0	(0)		2	(0)
	9月	3	(0)		1	(1)

※入居()内は再入居。退居()内は死亡
※令和元年9月18日現在のもの

富士見荘短期入所生活介護

市 町 村	7月	8月	9月
八幡平市	237	270	253
他市町村	7	3	0
合 計	244	273	253

配食サービス

人数	月	7月	8月	9月
利用者数		282	286	277



編集後記

自然災害が常態化している昨今、九月九日未明に千葉県に上陸した台風十五号。計画運休をした東京の情報は、タイムリーに報道されていたが、翌日ぐらいから千葉県内が暴風の影響で屋根が吹き飛ばされ、電柱が数千本単位で倒壊し、鉄塔までもが倒れていて、県内全域が停電に陥っていると報道が出た。そして、十日を過ぎても電気が復旧しない事態に陥っていた。私たちが経験した東日本大震災の時は、二日半で電気が復旧したし、地震による建物の倒壊もほとんどなかった(内陸においては)。寒さを凌ぐために、石油ストーブが大活躍した。それを踏まえて、災害用にストーブと灯油を備蓄している。しかし、今回のような暑い時期に「停電」したらどうやって冷やせばよいのだろうか。今年のような猛暑のさなか、停電が一週間以上続いたら、施設のご入居者にも熱中症の危険が及ぶことだろう。電気がなくては冷却する道具が見当たらない。水はどうにか手に入りそうなので、水を使って体温の上昇を抑える手立てを考えて置かないと……。

(松尾)